

北九アート塾 第4回「工芸という美しい術」

レクチャーシリーズ「北九アート塾」（計8回）では毎回、第一線で活躍されている専門講師をお招きし、現場ならではの話を伺いつつ、様々な角度からアートにアプローチします。第3回目は福岡県立美術館の竹口浩司さんをゲストに迎え、私たちの日常生活に関わりの深い「工芸」についてお話しいただきます。レクチャー後ご希望の方は講師の方を交えてのお食事やお喋りにも参加いただけます。

- テーマ 「工芸という美しい術」
- 講師 竹口浩司（福岡県立美術館学芸員）
- 日時 2011年 8月27日（土）18時～19時
- 会場 cream（北九州市小倉北区馬借1-15-8 tel.093-533-3311）
- 参加費 1,000円（1ドリンク付）※NPO法人 創を考える会・北九州会員様は500円
※レクチャー後の懇親会に参加される方の飲食代は各自負担となります



■講師プロフィール

2000年より福岡県立美術館勤務。大学で西洋美術史を勉強するも、縁あって近代工芸やクラフトデザインの分野に関わることに。工芸の面白さは、そのモノ（作品）が人が生きて在ることにダイレクトに関わることだと実感する今日この頃。主な企画展は「生活のかたち—豊田勝秋のあゆみに見る昭和の工芸」「ぼくの久留米紺ものがたり」「小石原焼と小鹿田焼 いとおしいやきものたち」など。ただいま来年の企画展「糸の先へ いのちを紡ぐ手、布に染まる世界」（2/4-3/11）の準備に奔走中。

■主催・お問合せ・お申込み

特定非営利活動法人 創を考える会・北九州

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津1-2-1

tel.093-562-9300 fax.093-562-9301 E-mail info@sokkai.or.jp

お名前 _____ お電話 _____

ご住所 〒 _____

email _____ <2011.08.27 竹口氏レクチャー申込み>